

■市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文



■ 災害のない梅雨でありますように

梅雨入り後、相次いで台風が発生し、日本列島を直撃しています。

一昨年は、梅雨明けの前日、厚狭地区が大水害に見舞われました。8戸が全壊に近い半壊。約450戸が床上浸水。約400戸が床下浸水。国から河川激甚災害の指定を受け、総額65億円の予算のもと、河川の増幅、河床の浚渫、^{じゅんせき}橋の架け替え、護岸の嵩上げ、ポンプの増設、桜川の改修など、災害対策緊急事業が急ピッチで進んでいます。事業期間は5年。平成26年度末までです。その頃には、本市の合併特例債事業である厚狭地区公共施設再編整備事業も完成を控え、少しでも地域に元気が戻っていることを願わざにはいられません。

■ 秋の市民まつりの会場が変わりました

このところ2年続けて雨にたたられた市民まつりでしたが（毎年、10月最後の土日です。）、先日の市民まつり振興会（市内各種団体の代表者で構成）で、今年の本祭（10月28日（日））の会場は「市民館周辺」と決まりました。過去3回は市役所が舞台でしたが、会場としてやや狭いことと、パレードのコースに配慮したためです。何といっても、パレードは「祭の華」です。今年のコースは、おのだサンパークから市民館までになりそうですが、きっといろんな嗜好が凝らされることでしょう。今から楽しみです。

■ 小野田・楠企業団地の一部が売れました

平成15年に売り出してから1区画も売れなかつた小野田・楠企業団地ですが、この3月に、宇部空港に常駐している防災ヘリの代替基地として、県が7区画を買ってくれました。もとより補助金なしの10分の10の金額です。残りは12区画となりました。その後、6月に東京で企業立地フェアがあり、偶然、1番バッターとしてプレゼンを引き受けました。果たして反響はどうだったでしょうか。

■ 今年の全国住みよさランキングは125位（県下3位）でした

ある全国誌による恒例の全国住みよさランキングが公表され、今年は125位でした（県下では、下松市、柳井市に次いで3位）。昨年は3月11日の東日本大震災があったため、順位はつきませんでしたが、平成20年以降、本市の総合順位は245位、152位、141位、昨年、そして今年の125位と着実に上昇しています。もっとも100以上の項目の総合評価なのですが、毎年のことながら、私自身、容易には解説できないため、この度、編集者に解説をお願いする手紙を送りました。また改めて、125位たる所以をご説明いたします。

対話の日 7月26日(木) 19:00～
有帆公民館